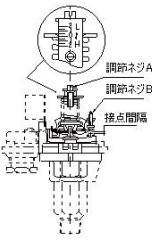
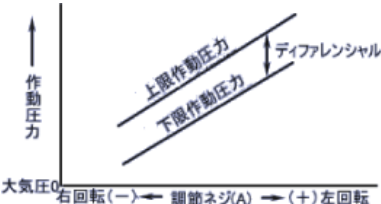
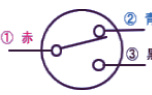
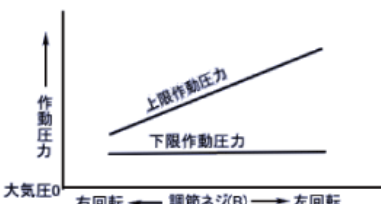


# SPS型圧カスイッチ

適用機種:SPS-5・SPS-8・SPS-18各シリーズ

圧カスイッチの動作圧力値は、御注文仕様にに基づき調整されておりますが、都合により動作圧力値を変更する場合は下記の要領に従い調整してください。

**注意:必ず電源を切ってからカバーを外し調整を行ってください、感電の恐れあります。**

 <p>調節ネジA 調節ネジB 接点間隔</p>	<p>1.調節ネジAを廻した場合</p> <p>①上限動作圧力値と下限動作圧力値との差（ディファレンシャル）は、そのまま両動作圧力値が移動します。</p> <p>②右へ廻すと（指針はL側へ移動します）動作値は下がります。</p> <p>③左へ廻すと（指針はH側へ移動します）動作値は上がります。</p> <p>④指針が目盛より外れない様に注意してください。 （スプリングのガタ付きがでるまで、右に廻さないでください）</p>  <p>↑ 作動圧力</p> <p>大気圧0 右回転(-) ← 調節ネジ(A) → (+) 左回転</p>	<p>1.調整例</p> <p>〈工場出荷時仕様〉 上限作動圧力 0.50MPa 下限動作圧力 0.40MPa</p> <p>〈左へ廻した場合〉 上限作動圧力 0.55MPa 下限動作圧力 0.45MPa となります。</p> <p>〈右へ廻した場合〉 上限作動圧力 0.45MPa 下限動作圧力 0.35MPa となります。</p> <p>ディファレンシャルは 0.50MPa-0.40MPa=0.1MPa 0.55MPa-0.45MPa=0.1MPa 0.45MPa-0.35MPa=0.1MPa となり基本的には変わりません。</p>
<p>〈端子の接続方法〉</p>  <p>① 赤 ② 青 ③ 黒</p> <p>端子記号 スイッチ動作</p> <p>①-② 圧力上昇にてOFF 圧力下降にてON</p> <p>①-③ 圧力上昇にてON 圧力下降にてOFF</p>	<p>2.調節ネジBを廻した場合</p> <p>①下限動作値はそのまま上限動作値のみ移動します。</p> <p>②右へ廻すと（接点間隔が狭くなる）上限動作値は下がります。</p> <p>③左へ廻すと（接点間隔が広くなる）上限動作値は下がります。</p> <p>④接点間隔は0.3~1.0mmより外れない様にしてください。</p>  <p>↑ 作動圧力</p> <p>大気圧0 右回転 ← 調節ネジ(B) → 左回転</p>	<p>2.調整例</p> <p>〈工場出荷時仕様〉 上限作動圧力 0.50MPa 下限動作圧力 0.40MPa</p> <p>〈右へ廻した場合〉 上限作動圧力 0.45MPa 下限動作圧力 0.40MPa となります。</p> <p>〈左へ廻した場合〉 上限作動圧力 0.55MPa 下限動作圧力 0.40MPa となります。</p> <p>ディファレンシャルは 0.50MPa-0.40MPa=0.1MPa 0.45MPa-0.40MPa=0.05MPa 0.55MPa-0.40MPa=0.15MPa となり変わります。</p>
	<p>3.上・下限動作圧力値を任意の動作圧力値に調整する場合</p> <p>①下限動作圧力値を上記「1」の要領で合せてください。</p> <p>②上限動作圧力値を「2」の要領で合せてください。</p>	<p>3.調整例</p> <p>上限0.50MPa、下限0.40MPaを 上限0.55MPa、下限0.35MPaに 変更する場合</p> <p>①調節ネジAを右回転して 下限0.35MPaを合せます。</p> <p>②調節ネジBを左回転して 上限0.55MPaを合せます。</p>